

製品デザイン論

選 択

開講年次：2 年次後期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：製品をデザインするために、HCD：Human Centered Design（人間中心設計プロセス）の考えに則り、製品のデザインプロセスを学ぶ。アイデア発想と表現方法から始め、調査分析、コンセプト立案等、的確な問題発見・解決力等の製品デザインの基本を理解することを狙いとする。
本科目で基本を学び、デザイン総合実習1で実践する構成となっている。

■**到達目標**：①製品デザインに必要な基礎知識の習得
②製品デザインに必要な技術の理解

■**担当教員**：

安齋 利典

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 オリエンテーション/製品デザインプロセス
- 第 2 回 アイデア発想としてのスケッチ
- 第 3 回 アイデアを考える
- 第 4 回 アイデアを見せる
- 第 5 回 アイデアを伝える
- 第 6 回 アイデアを説明する
- 第 7 回 調査方法
- 第 8 回 分析方法
- 第 9 回 イメージとフォルム
- 第10回 コンセプトメイキング
- 第11回 モデルと検証
- 第12回 製品デザインと科学・技術
- 第13回 製品デザインとマーケティング
- 第14回 プレゼンテーションと評価
- 第15回 最終報告と総括

■**教科書**：なし

■**参考文献**：「プロダクトデザイン—商品開発に関わる全ての人へ—」／日本インダストリアルデザイナー協会編（株式会社ワークスコーポレーション）
「誰のためのデザイン」／D. A.ノーマン、野島久雄訳（新曜社認知科学選書）
「こんなデザインが使いやすさを生む」／三菱電機デザイン研究所編（工業調査会）

■**成績評価基準と方法**：毎回の授業内容をまとめたレポート(300文字程度)40%、授業態度10%、発表10%、出席40%

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験				
小テスト・授業内レポート	◎	◎	毎回の授業のレポート	40%
授業態度	○	○		10%
発表	○	○	最終報告(プレゼンテーション)	10%
作品				
出席	◎	◎	2/3以上の出席(欠格条件)	40%
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習1～3

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：企画から製品デザインの完成に至るデザインプロセスを理解していただきます。

ユーザーの立場、組織（企業等）の立場に立ちながら、課題解決者としてのデザイナーの製品デザインに対する考え方を養い、アイデアを実現するための道筋を理解することを目的とします。

毎回の講義の最後のレポート等で理解を深めていただきます。